

追加公演
決定!

繊細かつ重厚な響きに魅了
深化する名ギタリストの
現在を聴く

タルレガ:アルハンブラの思い出

タルレガ:グラン・ホタ

バリオス:郷愁のショーロ

バリオス:パラグアイ舞曲

バリオス:マドリガル・ガボット

スペイン民謡:

「禁じられた遊び」より 愛のロマンス

マイヤース:

映画「ディア・ハンター」より カヴァティーナ

他

荘村清志

ギター名曲選

2020年11月13日 金 13:30

浜離宮朝日ホール 主催:朝日新聞社

全席指定・税込 ¥4,500 9/11(金)10:00発売

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日祝除く10:00-18:00)

朝日ホール・チケットセンター

イープラス <http://eplus.jp/asahihall/>

就学前のお子様はご入場をお断りしております。託児サービスをご利用ください。イベント託児マザーズ 0120-788-222(要予約)

Kiyoshi
SHONMURA

©Hiromichi NIZAWA

莊村清志(ギター)

Kiyoshi Shomura

9歳よりギターを始める。1963年に巨匠イエペスに認められ、翌年スペインで師事。

67年と68年にはヨーロッパ各地でリサイタルを行ない、69年の日本デビューで、「テクニック、音楽性ともに第一人者」との高い評価を得た。71年には北米で28に及ぶ公演を行い、国際的評価を不動のものにした。74年にはNHK教育テレビ「ギターを弾こう」に講師として出演し、一躍全国にその名と実力が知られることになった。日本人作曲家にも多数作品を委嘱、新作の初演にも意欲的である。とくに武満徹には74年に「フォリオス」、93年に「エキノクス」(初演94年)を委嘱し、ギタリストにとって重要なレパートリーの一つとなっている。

2007年NHK教育テレビ「趣味悠々」のギター講師として再登場し、改めて日本ギター界の第一人者としての存在を強く印象づけた。

2008年ビルバオ交響楽団の定期演奏会に出演。同団とは《アランフェス協奏曲》を録音、09年にCDをリリース、また同団との日本ツアーを行い、好評を博した。

2015年10月にはイ・ムジチ合奏団と共演、レコーディングを行い、ジュリアーニ、ヴィヴァルディのギター協奏曲を含むアルバムが16年1月にリリースされた。

2017年からギターの様々な可能性を追求する「莊村清志スペシャル・プロジェクト」(全4回)に取り組んでいる。さだまさしとの共演、またcoba、古澤巖、錦織健と共演したガラ・コンサートではジャンルの垣根を越えたコラボレーションが話題となった。第4回は、cobaの委嘱新作を含む全3曲の協奏曲を演奏する予定。

2019年はデビュー50周年に当たり、5月に初のバッハ・アルバム「シャコンヌ」をリリース、全国各地でリサイタルを行った。同年10月には朝日新聞の連載「人生の贈りもの」(全15回)に取り上げられ話題を呼んだ。

現在、東京音楽大学客員教授。

Kiyoshi SHOMURA Guitar



©Hironichi OZAWA

Web会員募集中 申し込み 朝日ホール・チケットセンター 検索 ※「会員登録」ボタンからご登録ください。



特典1 登録料
年会費無料



特典2 会員向け
先行販売
※先行販売を実施し
ない公演もあります。



特典3 24時間
購入可能



特典4 座席選択が
可能



特典5 最新情報の
お届け

